



演奏へのアドバイス

Timpani

• Timpani

[4] の四拍目は、音が跳ねないように注意しましょう。イメージとして、「トット」というよりは「トントト」のように。

[38] は、管楽器は fp になっています。叩いた直後に響きを止める必要はありませんが、発音をハッキリさせてスピード感のある音色で演奏すると同じニュアンスになります。

[48] のソロは見せどころですね。 ff を力任せに叩いてしまうと、音程が聴こえづらく固い音色になってしまうので、手首は柔らかく使いつつ腕の重さを使って演奏してみましょう。ロールでクレッシェンドする時は、手数を必要以上に増やして表現するのではなく、響きを増やしつつ広がるようなイメージで演奏すると曲の雰囲気にあうと思います。

[78]、最後の音を演奏したら響きが残らないよう音を止めましょう。



Percussion 2

• Crash Cymbals

この曲のクラッシュシンバルは、いわゆる効果音的な要素とハーモニーの一部分を担う要素に分かれているように思います。

[3] は明るい音色で、これから始まる物語のページを開くようなイメージで。

[F] からは、もちろんシンバルのいい音を出す事も大事ですが、管楽器のコード進行を意識すると音楽にマッチした音色で表現できると思います。

• Suspended Cymbal

クレッシェンドは自分だけで完結せず、その頂点から始まるフレーズや入ってくる楽器に流れを引き継ぐ意識を必ず持ちましょう。例えば [7]、ウインドチャイムの音を引き出しつつ [9] からのメロディーを意識してみましょう。[60] も [F] から始まる堂々としたメロディーを、[G] に入りさらに拡大させるようなイメージで演奏してみましょう。

• Bass Drum

楽器を深く鳴らし響きをしっかりと出すように意識しましょう。

[46] から 2 小節間は、クレッシェンドで管楽器を追い越さないように注意。

[48] からは、「ドンッ」といった打楽器的な音色を多くしてアクセントをしっかりと表現しましょう。

逆に [66] は、チューバやコントラバスなどの低音楽器の音色に合わせるように演奏してみましょう。



※本文中の [] 内の記号は練習番号、[]内の数字は小説番号を示しています。

楽器選びのアドバイス

	楽器名	アドバイス/楽器	弊社該当商品	アドバイス/マレット&ビーター	弊社該当商品
Timp	ティンパニ	余計な倍音が出ないように丁寧にチューニングしましょう。響きと打音がバランスよく聴こえるよう叩く場所も探してみましょう。	Majestic/Symphonic Series	ミディアムからソフトの響き豊かに出るようにしましょう。	K.M.K/KK-TMK01~05 CRED/CR-Timp101~105
	スネアドラム	5インチから6インチの深めの楽器がおすすめです。	SONOR/SQ-1406SD-MHI Majestic/MJ-MPS1465WA	ローズウッドなどの、響きをしっかりと出せるものにしましょう。	K.M.K/KK-CSJ, CSJ2, CSJ6
Perc1	ウインドチャイム	響き、倍音ともに豊かな楽器を選びましょう。	Treeworks/TW-TRE630 Treeworks/TW-TRE35		
	トライアングル	落ち着いたある柔らかなサウンドの楽器。	K.M.K/KK-TCS812C GROVER/GV-TRBPH7	倍音がしっかり出しやすいよう太めのビーターがいいですね。	K.M.K/KK-TB05 GROVER/GV-TBBS
Perc2	合わせシンバル	あまり薄過ぎず、倍音豊かな楽器。ミディアム以上がおすすめ。	小出/11S-in18CCM 小出/CAD-18CCM		
	サスペンドシンバル	18インチで重厚な響きの楽器。	小出/CA-18CSM 小出/808-SI8CSM	ロールがしっかり響き音が粒が聴こえないマレット。	Ron Vaughn/RVN-CymM4R, 5R
	バスドラム	響き豊かに出せるような深めの楽器。	Majestic/MJ-BD3622S	頭にしっかり重心があるマレット。	K.M.K/KK-BMDY-CWL, KK-BMDY05
Perc3	グロッケン	音盤が厚めのもので、サスティーンがしっかり出る楽器。	Majestic/MJ-B626S	硬すぎず少し頭が大きいマレット。	K.M.K/KK-MGL28 Acoustic Percussion/AN-OS2S
	タンバリン	明るく歯切れのいいサウンドの楽器。	GROVER/GV-T2GS, GV-T2HTS Harlan/HL-T10DUGS		
	シロフォン	軽やかさもあつ、鳴りのしっかりした楽器。	Majestic/MJ-X6535H	頭の大きさは小さすぎず、響きもしっかり出せる木のマレット。	Acoustic Percussion/ AN-HBX1~4, AN-HBX1S~3S

物語性に富んだ楽曲、
呼吸とフレーズ感を共有し、
歌うように奏でる音楽

レッスン執筆
金子泰士

読売日本交響楽団打楽器奏者

課題曲 I

夕映えの丘

作曲：森山 至貴 (第35回朝日作曲賞受賞作品)

楽曲について

作曲者の森山さんは合唱曲をたくさん作られたということもあり、メロディーや和声進行に歌心の溢れた素敵な作品になっています。楽譜通り演奏した上で、管楽器の息遣いやアーティキュレーション、フレーズ感に寄り添うような音作りがとても大切です。音程のある打楽器は、楽譜に書いていないスラーやスタッカートなどを管楽器と共有できるといいですね。音程のない打楽器も、管楽器が上行音形なのか下降音形なのかで音色が変わってきますし、フレーズの始まりと終わりでは音の作り方が変わってきます。パート譜だけでなく、スコアもしっかり読み込んで演奏してみましょう。

物語が想像しやすい作品ですので、バンド全体で音楽の方向性を共有すると一体感のある演奏になると思います。